

陳 情	受 理 番 号	175	受 理 年 月 日	令和6年11月21日	付 託 委 員 会	厚生経済
件 名	若者の保健医療行政への持続的な参画について					

みだしの件について、別紙のとおり陳情いたしますので、よろしくお願ひいたします。

件 名 若者の保健医療行政への持続的な参画について (陳情)

陳情の趣旨・理由

沖縄県は1980年の平均寿命は男女ともに全国1位であったが、2020年には女性16位、男性43位に落ち込んだ(厚生労働省報告より)。その主な原因として、壮年世代の早世が指摘されている。那覇市としても同様の課題に直面しており、那覇市の平均寿命は県内41市町村のうち女性26位、男性23位で、県全体と同等かそれ以下の水準となっている。健康なは21の中間報告によると、那覇市の20-64歳の年齢調整死亡率は策定時(2015年)より改善傾向であるが、依然として男女ともに全国より高い状況が続いており、「今後、働き盛り世代の死亡原因(20-64歳)を分析し、リスク(生活習慣病)を改善するため、働き盛り世代に向けた健康づくり施策をより強化することが重要」と明記されている。

働き盛り世代の早世の解決のために那覇市として様々な施策に取り組んでいるが、背景にある問題は社会に深く根差しており、その打開は困難を極めている。例えば、那覇市の死因で高い割合を占める生活習慣病の抑制のためには、働き盛りの健康無関心層の意識改革を図る必要があるが、既存のアプローチでは行動変容に至る例は多くない。根本的な解決には、一部の有識者や関係者だけによる現行の議論から脱却し、新たな視座の導入、手法の刷新が必要だと考えられる。

働き盛り世代の早世の改善に有効かつ具体的な施策実現のために、県内の高校・大学生や若者が継続的に那覇市の保健医療行政へ参画する取り組みを提案する。

【企画概要】

企画名として『美ら島若者ヘルスクリエイト』と銘打って取り組む。沖縄県内の若者が中心になって、那覇市民ひいては沖縄県民の未来の健康的な社会を創造することを目指すことを掲げた名称となっている。

企画運営を中心になって担う主幹メンバー(3-4名)のチームを結成する。メンバーは高校生・大学生の有志で構成され、“美ら島ヘルスクリエイト リーダー”というチームで実動し、以下に記す①～③に取り組む。なお、施策提案に至る活動を担うチームであり、本企画に対して那覇市から承認を得る。

また、下記の①～③について、Global Shapers Community Okinawa hub (GSCO) が全面的にバックアップする。GSCO は世界経済フォーラムのイニシアチブで世界各国の地域に組織された Global Shapers Community の沖縄支部で、若者(U33)のエンパワーメントとそれによる社会変革を目的とし、様々な職種や立場の若者が活動する。2024年8月には、沖縄県医師会の共催ならびに沖縄県歯科医師会・沖縄県看護協会・沖縄県薬剤師会・安次嶺馨様(元沖縄県立中部病院院長)の後援のもと、壮年世代の早世の問題の解決策を考えるアイデアソンを2日間かけて実施した。その後さらに2週間かけてアイデアを具体化し、沖縄県保健医療介護部の糸数公部長への政策提言を果たした。

GSCO は①～③の取り組みを、一切の責任を負って実現させる。

① 「美ら島健康未来会議 (仮称)」 の開催

沖縄県内の高校生や大学生、20-30代の社会人を集め、健康課題の各テーマに沿って議論する機会を作る。テーマ設定は、働き盛り世代の早世に影響する重要な健康問題に、より具体的に焦点を当てる(例:アルコール関連疾患の罹患率低減、口腔衛生の改善、肥満率の低下等)。議論を通して課題の本質を浮き彫りにし、解決のためのアイデアを抽出する。

② 具体的な健康政策の立案

健康課題に関わる各分野の専門家から、解決策のアイデアや議論内容についてフィードバックを受ける機会を設ける。各有識者の招聘について、GSCOの豊富な各方面への人脈を活用し協力する。世代や職域、業界の壁を越えた対話を促進し、“美ら島ヘルスクリエイト リーダー” および GSCO、または①参加者の有志を募り、具体的かつ実現可能性のある健康政策を立案する。

③ 保健医療行政の関連会議への出席/健康施策の提案・実行

那覇市の保健医療行政に関する各種会議に“美ら島ヘルスクリエイト リーダー”が出席し、発言する機会を得る。若者の立場からのアプローチで、健康課題に対する有効かつ具体的な施策を提案し、実行する。那覇市主催の健康イベントやセミナーの実施、SNSを活用した健康行政の広報などにおいて、その企画・運営に積極的に関与し、若者目線の着想を反映させる。

*なお、“美ら島ヘルスクリエイト リーダー”・GSCO メンバーはいずれの活動においても報酬を伴わないものとする。

以上の提案を那覇市で実行すれば、若者が自治体の保健医療行政への継続的な参画を実現する全国においても先駆的な取り組みとなる。若者世代だからこそ実現可能なアプローチも少なくなく、若者の声を積極的に保健医療行政に反映させる基盤を作ることが出来れば、働き世代の早世という深刻な健康課題の改善に寄与する。県人口の約 20%を占める那覇市で先立って取り組むことで、那覇市ひいては沖縄県全体の長寿復活に繋がる。

那覇市議会の皆様に本企画にご理解とご賛同を頂き、働き盛り世代に向けた健康づくり施策に積極的に取り組まれることを心より願う。